



# ★きらり☆保健師だより★

2019年度第1号 2019年8月30日  
医療生協さいたま 保健師職能部会

## 2019年度 保健師活動交流集会を開催しました！

医療生協さいたまでは、毎年「保健師活動交流集会」を開催しています。今年度は7月20日（土）に開催し、病院・診療所・訪問看護ステーションなど10事業所から32名の保健師が参加しました。

### 講演

「地域でくらす」安心ネットワーク  
～地域の中での私たちの役割について考える～



熊谷生協病院の曾田恭基さん（県北組織担当責任者・社会福祉士）より、「地域でくらす」という視点で取り組んでいる、職員と組合員が連携した退院支援や見守り活動、くらしの困りごとを助け合う“くらしサポーター”の取り組み、生活困窮者支援としてのフードドライブや多世代食堂など、様々な活動についてご講演いただきました。さいごに、専門職として、患者さんを地域でくらす生活者の一人としてとらえ、安心してくらす地域をつくるために、「地域」を意識し、連携して取り組んでいってほしいとお話されました。

### 保健師活動報告

様々な現場で働く多世代の保健師の役割や活動を共有し、学びを深める機会として、毎年各事業所の保健師から活動報告を行っています。

今回は、埼玉協同病院の禁煙デーの取り組み、埼玉西協同病院の支部活動拠点での取り組み、熊谷生協病院での退院支援のかかわり、浦和民主診療所での職員向け調理実習の取り組み、ケアセンターかがやきの訪問看護における保健師の関わりについて報告しました。



くらしの保健室があるといいな

### グループディスカッション

テーマ：「地域でくらす」を支える  
～地域の様々な社会資源につなぐ・活用する～

今取り組んでいること、これからやってみたいこと、「こんな支援ができるといいな」など、グループごとに話し合い発表しました。



地域で孤立した人がいないように、私たちから働きかける

退院後の生活の不安を聴く



地域との連携・関係づくりが大切！

### 参加者の感想

地域の活動や地域の課題に目を向けていくことが大切だと思った。

地域や、地域にある様々な社会資源を知らないとなかなか活用ができないので、今後は地域に出たり、情報収集をしていきたい。

患者様を地域でくらす生活者の一人としてとらえ、退院後のくらしのことを考えて入院中に関わっていきたい。

